

平成27年10月15日

観光経済部

奈良町にぎわい課

電話0742-24-8936

「奈良町南観光案内所と奈良町南観光駐車場」の開所について

奈良市は奈良町の観光振興を図るため新たな拠点として、奈良町南観光案内所と奈良町南観光駐車場を開所することになりました。

当施設を「奈良町の南の玄関口」と位置づけ、観光案内情報とともに奈良町の歴史や地域に根差した魅力ある生活文化を発信する観光案内所として、また奈良町全体のにぎわいを創出ことのできる施設とします。

加えて、施設の運営には民間活力を積極的に導入し、民間ならではのノウハウを柔軟かつ多角的に用いることで、奈良観光のさらなる発展を図ります。

1. 開所施設

「奈良町南観光案内所」

- ・所在地 奈良市井上町11番地 ・敷地面積 1,172㎡
- ・建物名称 観光案内所棟：旧ならまち振興館（木造2階建主屋、蔵）
マルシェ・観光便所棟：新築（木造平屋建）
「にぎわい創出施設（民間店舗：カフェ）」は12月に開店予定
- ・開所時間 観光案内所と観光便所は午前9時～午後5時（年中無休）
マルシェは午前8時～午後6時（水曜定休）
カフェの営業時間、定休日は調整中

「奈良町南観光駐車場」

- ・所在地 奈良市井上町11番地 ・敷地面積 560㎡
- ・収容台数 普通自動車など 20台（平面自走式）
- ・開場時間 午前7時～午後7時（年中無休）

2. 開所日時

- ・平成27年11月19日（木）午前11時から開所式典
- ・12：30から一般利用を開始 ※開所式典が終わり次第、案内開始

3. 施設概要

- ・観光案内所棟には読書室や展示室を併設（入所無料）
- ・マルシェ棟では物販の他、食堂で朝食と昼食を提供
- ・マルシェ棟には観光便所を併設
- ・奈良町南観光駐車場は利用料金制を採用

4. ならまち振興館の活性化方針にかかる経緯

- ・平成24年11月12日付で、プロポーザル方式採否審査会委員長より「ならまち振興館整備事業設計委託業務」を採用する旨の通知
- ・平成24年12月21日～平成25年1月18日の間、「ならまち振興館整備事業設計委託業務」の提案を公募した。「株式会社 地域計画建築研究所」、「株式会社 乃村工藝社ほか4者による共同企業体」の2団体から提案
- ・平成25年1月29日に、奈良市プロポーザル審査委員会を開催し、株式会社 地域計画建築研究所」を実施事業者として特定
- ・平成25年2月1日付で「株式会社 地域計画建築研究所」と「ならまち振興館整備事業設計委託業務」契約（平成25年3月31日完了）
- ・平成26年6月5日「奈良市ならまち振興館の活用方針」決定（奈良市観光案内所規則を改正し、仮称奈良町南観光案内所として位置づける）
- ・平成26年6月5日付で「株式会社 地域計画建築研究所」と「奈良市ならまち振興館整備事業設計業務委託」契約（平成26年12月31日完了）

5. 関連する条例・規則の改廃など

- ・平成26年10月31日「奈良市観光自動車条例の一部を改正する条例」「奈良市ならまち振興館条例を廃止する条例」を確定する「法令審査会の審査結果について」を法令審査会委員長から観光経済部長あてに通知
- ・平成26年11月13日「奈良市観光案内所規則の一部を改正する規則」を公布（奈良市規則第51号）
- ・平成26年12月18日「奈良市ならまち振興館条例」を廃止（奈良市議案第143号）

6. 奈良町南観光案内所に関する執行状況

- ・平成24年度 「ならまち振興館整備事業設計委託業務」
予算 5,000千円（決算4,935千円）
- ・平成26年度 「奈良市ならまち振興館整備事業設計業務委託」
予算 7,700千円（決算2,529千円）
- ・平成27年度 「奈良町南観光案内所整備その他工事」
予算86,919千円

7. 施設紹介

- 「鹿の舟（しかのふね）」
（施設のネーミングコンセプトは別紙参照）
- 観光案内所…「繭（まゆ）」
 - ・1階…観光案内所に読書室と展示室を併設
バリアフリーを重視し、下足での入所を可能に
 - ・2階…生活学校など開催時に和室を開放

○外国人対応

- ・英語スタッフ常駐

○読書室

- ・「日本」「奈良」「伝統文化」「暮らし」「農」「食」を基本テーマに、書籍を選定

○展示室

- ・読書室の基本テーマをもとに、奈良にとどまらず、全国の道具や民芸品などを展示

○「生活学校」

- ・テーマ…「これからの生活」
- ・伝統的な生活文化が今も色濃く残る奈良町で、これまでの生活を振り返り、これからの生活を共に模索する学校
- ・奈良や日本の生活文化や食、農を題材にした実践的な講座や、「これからの生活」を講師や参加者が共に考える特別講座を開催予定

●マルシェ…「竈（かまど）」

○「食堂」

- ・奈良の魅力の一つである“朝”に注目
- ・本格かまどを設置し、毎朝、薪で炊いたご飯（白米、茶飯、茶粥など）を提供
- ・奈良の伝統野菜や県産の食材を使用したおかずと共に、朝食（650～900円）と、昼食（1200円）を提供予定

○「グローサリー」

- ・食堂で使うしょうゆ、みそ、米、野菜、日本酒などの奈良県食材を提供
- ・箸、膳、櫃、茶碗などのオリジナル商品も販売

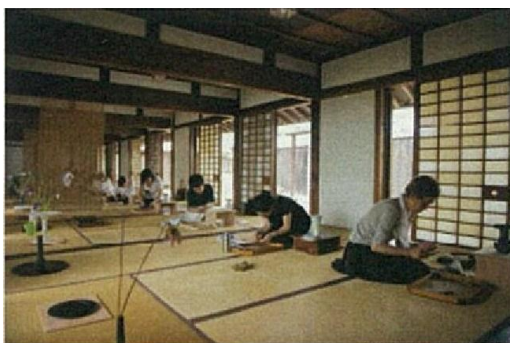
●カフェ…「囀（さえずり）」

○「喫茶室」

- ・コーヒー…ハンドドリップのスペシャルティコーヒーを提供
- ・ドリンクメニュー…ハーブやフルーツを使った自家製ドリンクの提供
- ・フードメニュー…大和野菜を使ったドーナツや季節限定メニューの提供

○「雑貨店」

- ・新しい奈良のお土産や、工芸品の販売
- ・オリジナルロゴ入りの食器類、道具類の販売



生活学校（イメージ）



グローサリー（イメージ）



「竈（かまど）」メニュー例



「竈（かまど）」商品例